

広報あびこ

NO. 79

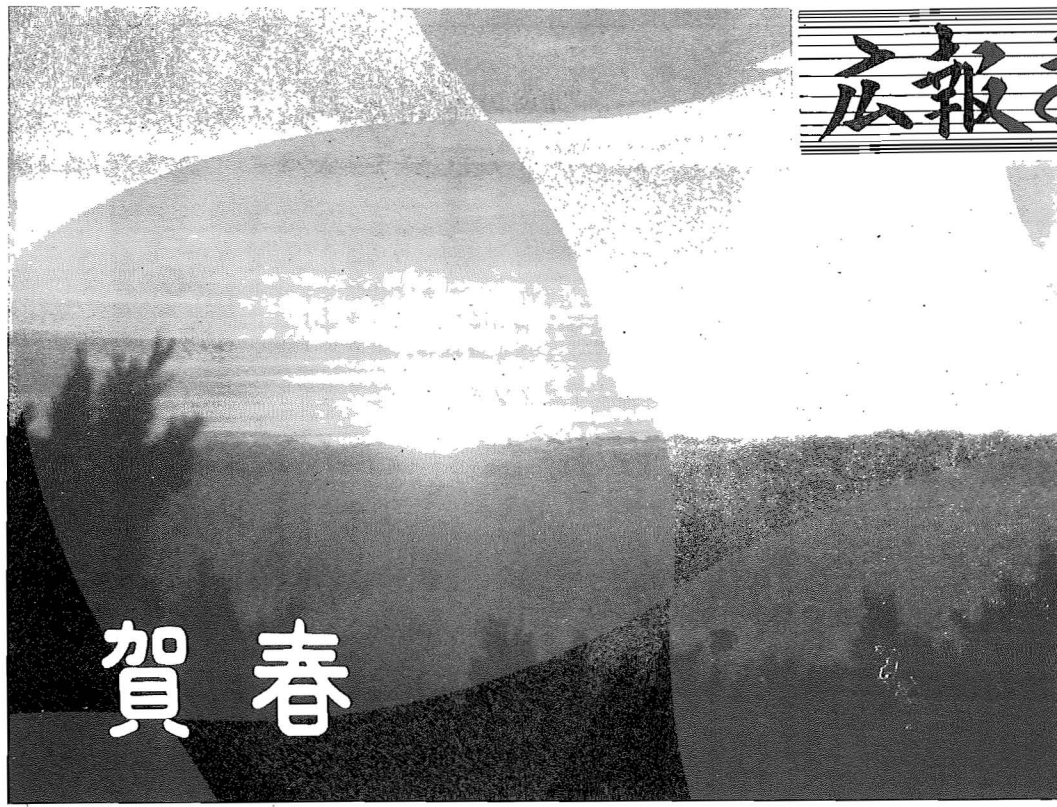
36. 1. 1号

千葉県我孫子町役場
TEL. (あびこ) 42

毎月1日 16日 発行 1部 2円
昭和34年7月30日 第三種郵便物認可

—目次—

- 新年の挨拶(町長・議長)…2
- 手賀沼観光開発の概要…3.4.5
- 基本選挙人名簿確定…6
- 1月11日に消防出初式…7
- 35年最終議会終わる…7
- 鳥獣の捕獲、飼養は許可を受けてから…8
- 私の希望…8



賀春

広報あびこ (2)



宮本町長

千葉県下第一位を誇り得る本町二万七千町民の皆様とともに、希望多き新年を迎え得た喜びを衷心から祝福申し上げます。

不肖就任以来ここに二年町村合併五ヶ年建設計画も町民皆様の絶大なる御支援と御協力により、その大半の事業を達成せられましたことに深甚の謝意を捧げ、いよいよ本年度より新町建設十ヶ年の新計画と切り替え、本町の直面する開発事業への一大躍進の責めを果さねばならぬと考えております。

東京都の首都圏整備事業



鈴木議長

新年おめでとうございます。昭和三十五年を大過なく越年できましたことは、皆様の御支援と御協力の賜ものと心からお礼申し上げます。昨年は町行政運営において、非常に複雑多岐な年でありました。議会においても、当初の計画完遂のため努力してまいりましたが、解決を見なかつた点が多かつたことは誠に残念でありました。当初予算議会の三つの学校校舎増改築予算審議過程において、多数意見があつた中学校統合問題は、文教委員会の研究課題となつてまいりましたが、審議の段階にまでいたりませんでした。また議会は、

躍進、三十六年へ踏み出す！

新年の曙光は手賀沼から

の進展につれ、都心より三十キロの地点に所在する本町の地理的条件の上から、生産工場、会社等の施設、あるいは常盤、成田両沿線の電化推進に伴う、沿線住宅団地の造成、現に我孫子取手両駅間に鉄道共済組合の厚生施設として四万坪の住宅地が造成され、三百数十戸の住家が本年度建設されようとし、さらにこの周辺地域に新駅設置も計画されつつあり、一面、我孫子町と沼南村を結ぶ手賀沼架橋も、本年度に大半の事業完成を目標に努力が続けられております。またこの架橋

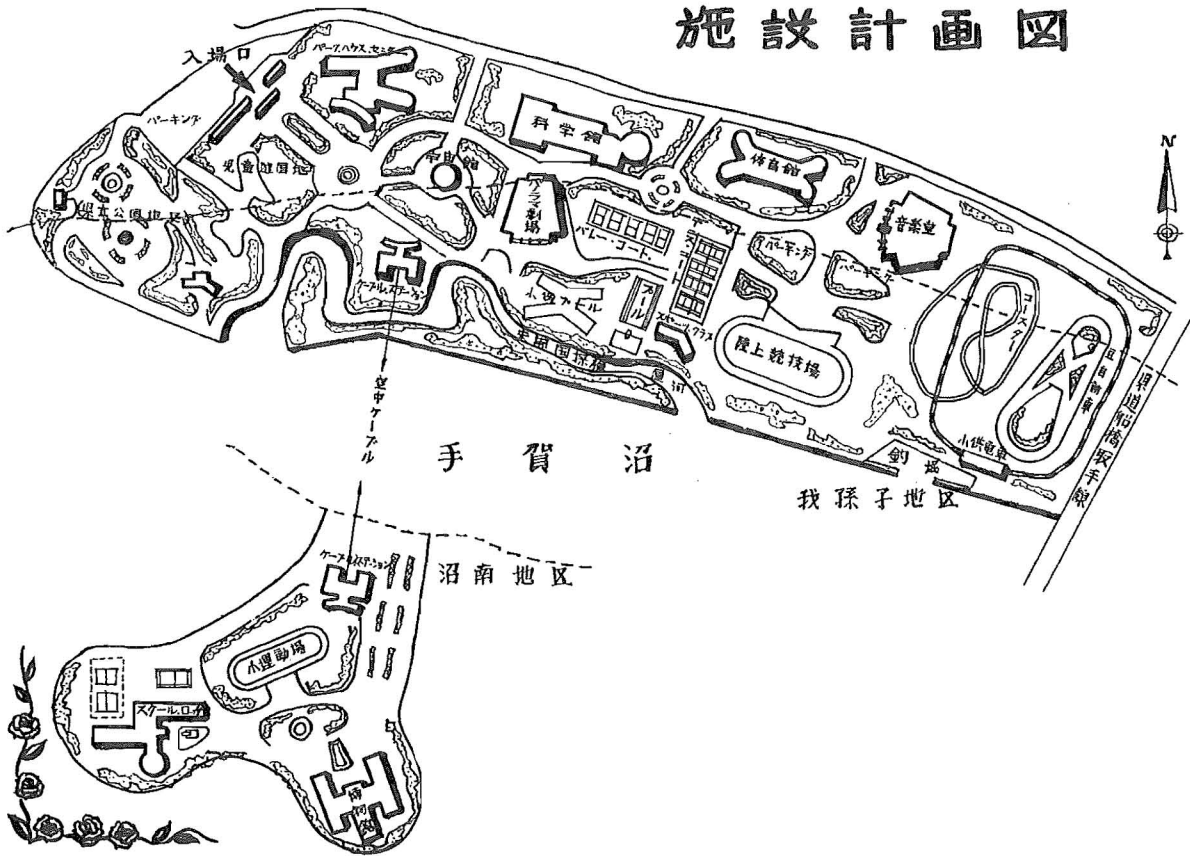


都市計画、架橋、企業誘致を促進

新駅設置について、早期実現を期し万場一致で誘致決議を行ない、町はその周辺の都市計画に乗り出しましたが、思うような進展を見ずに越年いたしました。ここに輝かしました昭和三十六年を迎え、希望をかけてすべての施策の実現に邁進したいのであります。議会は常に町当局と一丸となつて自治態勢の確立をはかり、円満協和のうちに一大躍進を試みる必要があるので、今回、議会に運営のための委員会を置き、正常な運営と議会活動の充実をはかり、町行政の振興発展に関するいろいろな調査を行ない、議会は議会の立



施設計画図



水質沼の観光、その指につく

用地買収ほぼ完了 今春には鉄入れ式

私たち町民の大きな関心事であり、大きな話題となった、県立公園水質沼の観光開発計画は、一昨年から一流財界人によって会社設立が進められ、一方、地元我孫子町および手賀沼沿岸開発協議会(柏市、我孫子町、沼南村の三市町村で結成)では、その受け入れ態勢を整え、さらにその開発促進に努力してまいりましたが、昨年四月十二日、東京都において会社設立総会が開催され、全日本観光開発株式会社が発足しました。同社ではただちに用地買収にとりかかり、昨年未だに、我孫子地区(三万坪)はほぼ買収完了をみま、沼南地区についても順調に買収が進められております。今春には埋立工事の鉄入れ式が行なわれるはこびとなっており、待ちに待った手賀沼観光開発も、間もなくその緒につこうとしています。

以下、全日本観光開発株式会社の設立趣意および事業計画の概要をここに発表し、我孫子町の発展は「手賀沼の観光開発から」の合言葉のもとに進みたいと思っておりますので、皆さまの絶大な協力をお願いします。

設立の趣意

手賀沼は、面積十二平方キロメートル、延長十六キロメートルにわたる細長い水面を形成し、平均水深一・五メートルで、沼の汀線部にはヨシ、マコモを生じ、湿地を隔てた二十メートル前後の台地には杉、松が密生しており、これが一体となって織りなす自然美は、周囲に点在する先住民の遺跡とともに一部の人のかねてから注目していただけている。常磐線上野、取手間の電化により、都心からわずか一時間以内の距離となり、国道六号線の完成、東房環状線の着工など周辺交通網の整備につれて、住宅公園をはじめ幾多の住宅建設の手がのべられ、急速に人口の増加を示している。

こうした交通環境の発達と人口の急増により、一躍手賀沼の景観がクローズアップされるに至った。

手賀沼周辺市町村においても、以前からこの地区を観光地、住宅地として開発したいという強い意欲を持っており、積極的な事業誘致を計画していた。我々はこれをバックボーンとしてこの水域を中心に、水陸両域を有機的に結合した近代感覚溢れるレクリエーションセンターを建設し、地元民はもとより自然に恵まれる都民のための行楽、安息の地のみならず、青少年の楽園、教育の場たらしめるとともに国際観光発展の一翼をにないたい企図と念願を持っている。

ここに全日本観光開発株式会社を設立し、別記事業計画に基づき、順次本事業の達成を計らんとするものである。

事業の計画

方針

手賀沼及びその周辺の風景美の保存、保護につとめるとともに、自然美を最高度に活用したレクリエーション施設に主眼を置き、各施設は安全快適で近代的感覚の溢れたものとする。特に小中学校の児童生徒にたいし、動植物の生態観察、科学的知識の普及向上に寄

建設予定地

柏、我孫子、沼南の三市町村にまたがる手賀沼西部周辺地区及び水面の一部で農林省手賀沼第二期干拓工事予定地域以西の地区。

用地

地区	30,000坪
地区	50,000坪
地区	20,000坪
地区	100,000坪
地区	160,000坪
地区	15,000坪
地区	25,000坪
地区	200,000坪
計	300,000坪

施設の概要

- ① ハルスセンター施設
- ◇ パークハウス 沿岸の埋立地と湖面の一部を利用して、延四、五〇〇坪を目標に近代的温泉を取入れたハルス・センターを建設し、パークハウスとしてその特徴を生かす施設とする。建物内部には事務所、娯楽室、ホール、貸席、食堂、売店大小浴場、休憩室ならびに簡易な宿泊施設を収容し、観光客の憩いの場とする。
- ② 娯楽遊戯施設
- ◇ 一般対象の諸施設 低年齢層はもちろん、大人も共に楽しめる娯楽施設として特にバラエティーに富んだものをつくる方針であるが当面次のようなものを予定している。
- テールタワー ○ ジェットコースター ○ 飛行機
- 回転ブランコ ○ 宙返り
- ロケット ○ メリゴーランド ○ オクトパス ○ ビンポン場 ○ 釣堀 ○ 豆電車 ○ その他各種遊戯施設
- ◇ 水上、観覧、娯楽施設
- 水上に観覧船を運行して三地区の連絡をとると同時に勝景観賞の便に供し、また

